

**双葉郡の制服を“ぬい服”にして記憶を未来へつなぐ巡回展  
「おもいでのおふたばのがっこう ふたば制服ギャラリー」  
2026年4月1日（水）より東日本大震災・原子力災害伝承館でスタート**

フレックスジャパン株式会社が運営する「ひなた工房 福島双葉」は、福島県双葉郡の中学校・高校へ通っていた皆さまからご提供いただいた制服を、ぬいぐるみサイズのぬい服に仕立てた展示「おもいでのおふたばのがっこう ふたば制服ギャラリー」を、2026年4月1日（土）より福島県双葉町にある東日本大震災・原子力災害伝承館にて開催します。一着一着に詰まった思い出を、手のひらサイズの展示として未来へつなぐギャラリーです。1月から開始した巡回展での、3箇所目の開催となります。



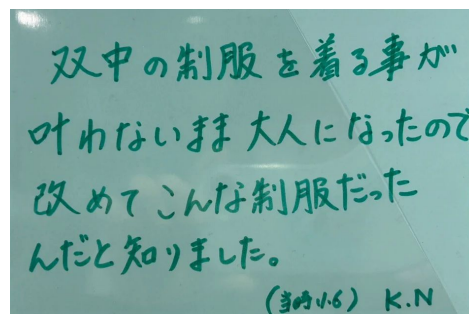
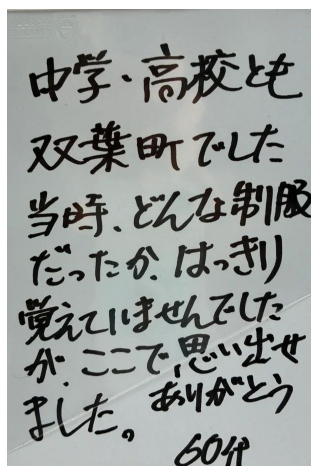
産業交流センターでの展示の様子



展示しているぬい服の一例  
クマの足には校章と提供者名の刺繍が入る

## ■ 双葉郡の”同郷会”になることを願って

制服をきっかけに、同級生との思い出や同窓生の絆、同じ地域で育った仲間とのつながり、そして双葉郡の卒業生としての誇りを、あらためて思い出すきっかけになりますように。「ふたばのがっこう」は、大切な記憶をなつかしむと同時に、未来へと続く物語を紡ぐ展示です。記憶を結び、世代をつなぐ“橋”として、ここで出会う一つひとつの物語が、みなさん自身の歩みと重なり、未来へ向かう希望につながることを心より願っています。会期中、制服の思い出に関する寄せ書き企画「つながる双葉のわ」も開催。会場およびXで思い出を分かち合える場として多くの方にご参加いただけましたら幸いです。



寄せ書き企画「つながる双葉のわ」に寄せられたメッセージの一例

## ■ 募集校 ※順不同、旧校名・休校中・閉校も含む

福島県立双葉高等学校、福島県立浪江高等学校、福島県立浪江高等学校津島校、福島県立富岡高等学校、福島県立双葉翔陽高等学校、浪江町立浪江中学校、浪江町立浪江東中学校、双葉町立双葉中学校、浪江町立津島中学校、大熊町立大熊中学校、富岡町立富岡第一中学校、富岡町立富岡第二中学校、川内村立川内中学校、広野町立広野中学校、楡葉町立楡葉中学校、葛尾村立葛尾中学校、富岡町立富岡中学校、浪江町立なみえ創成中学校、学び舎ゆめの森、川内村立川内小中学園、福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

## ■ ひなた短編文学賞受賞作品展も同時開催

同期間中・同会場において、「ひなた短編文学賞 受賞作品展」も同時開催。2023年よりスタートし、累計2000件以上の作品が寄せられたこれまでの軌跡や受賞作品などを展示致します。詳しくは「ひなた工房HP」よりご確認ください。

## ■ 「おもいでのおふたばのがっこう ふたば制服ギャラリー」開催概要

**会場** : 東日本大震災・原子力災害伝承館エントランスホール（福島県双葉町大字中野字高田39）  
※ふたばのがっこう展示エリアは入場無料、常設展示エリアへの入場は有料となります。

**展示期間** : 2026年4月1日（水）～ 5月10日（日）

**開館時間** : 9:00～17:00（最終入館16:30）

**休館日** : 火曜日（火曜祝日の場合は翌平日） ※4月4日(土)～6日(月)は臨時休館、GWの5月7日(木)は開館以降

富岡町文化交流センター 学びの森（富岡町）、CREVAおおくま 1F 中間貯蔵センター（大熊町）、福島県立ふたば未来学園（広野町）、震災遺構浪江町立請戸小学校（浪江町）、みんなの交流館 ならはCANvas（楢葉町）などで展示予定。



ふたばの学校 特設ページ

<https://restitch.jp/blogs/news/futabanogakko>

### <本リリースに関するお問い合わせ先>

フレックスジャパン(株) ひなた工房事業部 担当：唐木澤（からきさわ）

TEL : 026-261-3000 / MAIL: karakisawa@flexjapan.co.jp